

近畿大学病院消化器内科で潰瘍性大腸炎に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 消化器内科（以下、当科）では、

「(入院を要した潰瘍性大腸炎患者の治療内容と寛解導入・維持への関係：後ろ向き検討)」

という臨床研究を行っています。そのため、当科で潰瘍性大腸炎に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、入院を要した潰瘍性大腸炎患者の治療内容とその評価を後方視的検討について調べることを主な目的としています。そのため、当科で潰瘍性大腸炎に対する治療を受けられた患者様のうち、入院した方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する情報の項目

- カルテ情報（診断日、年齢、性別、病歴、生活歴、潰瘍性大腸炎の病型・重症度・治療経過・治療内容：輸液内容・治療薬）
- 各種検査結果（血液検査・病理学的検査・画像検査・内視鏡検査）

情報の取得は、当院が管理する電子カルテシステムからのデータ抽出により行います。個人情報の保護には特に注意を払い、患者のプライバシー保護のための厳格な措置を講じます。

③ 利用を開始する予定日

医学部長による実施許可日：2024年〇月〇日

④ 利用する者の範囲

研究責任者及び承認された研究分担者に限定されます。すべての研究者は、個人情報の取り扱いに関する厳格な訓練を受けており、個人情報保護法に基づく適切な管理を行います。

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合

に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、学会発表および論文公表後にお申し出いただいても利用を停止することはできませんので、ご了承ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 消化器内科 永井 知行 (研究責任者)

電話 : 072-366-0221 (内線 : 6871) FAX : 072-365-7161

以上